

## 集団かぜ発生状況(平成29年1月26日) (NO. 19)

県内の集団かぜの発生状況は、次のとおりです。

### 1 平成29年1月26日(木)措置分 (8施設)

措置を取ったクラス等の状況

- (1) 患者数 109 名
- (2) 施設別発生状況 裏面のとおり

### 2 既発施設における本日の措置状況 裏面のとおり

### 3 現在までの状況

措置を取ったクラス等の状況

- (1) 在籍者数 3,526 名
- 患者数 1,471 名
  
- (2) 発生施設数

措置状況 休校	2 施設
学年閉鎖	22 施設
学級閉鎖	46 施設
計	70 施設

注: 在籍者数及び患者数は、措置を取ったクラス等の初発報告の累計

注: 同一施設で措置を変更した場合は、休校、学年閉鎖、学級閉鎖の措置の規模の大きい方に変更してあります。

#### (参考1)

集団かぜの発生状況は、インフルエンザ様疾患(※)による欠席等により、学級閉鎖等の措置をとった場合の報告です。

※ インフルエンザ様疾患: 38度以上の発熱かつ急性呼吸器症状(鼻汁若しくは鼻閉、咽頭痛、咳のいずれか1つ以上)を呈した場合をいう。

#### (参考2)

インフルエンザの予防のために

- ① 流行前のワクチン接種
- ② 咳エチケット
  - 咳・くしゃみの際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。
  - 呼吸器系分泌物(鼻汁・痰など)を含んだティッシュをすぐに蓋付きの廃棄物箱に捨てられる環境を整える。
  - 咳をしている人にマスクの着用を促す。
  - マスクの装着は説明書をよく読んで、正しく着用する。
- ③ 外出後の手洗い
- ④ 室内の適度な湿度の保持(50~60%)
- ⑤ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ⑥ 人混みや繁華街への外出を控える

石川県ホームページの「インフルエンザ情報」に、予防情報等を掲載しています。

施設別発生状況

(平成29年1月26日措置分)

	施設名	所在地	措置を取ったクラスの状況				備考
			学年・クラス名	在籍者数(人)	患者数(人)	措置(期間)	
1	カナザワシリツ サイガワシヨウガッコウ 金沢市立犀川小学校	金沢市末町	2年2組	21	9	学級閉鎖 (1/26~27)	2年生は全2クラス
2	コマツ シリツ ダイイチシヨウガッコウ 小松市立第一小学校	小松市白江町	2年4組	29	10	学級閉鎖 (1/26~27)	2年生は全4クラス
3	コマツ シリツ トウリョウシヨウガッコウ 小松市立東陵小学校	小松市西軽海町	1年	31	11	学年閉鎖 (1/26~27)	1年生は全1クラス
4	コマツ オオタニコウトウガッコウ 小松大谷高等学校	小松市津波倉町	1年特進Aクラス 2年体育科	75	30	学級閉鎖 (1/26~27)	1年生は全8クラス 2年生は全7クラス
5	シリツ ウケシヨウガッコウ かほく市立宇ノ気小学校	かほく市宇野気	5年2組	34	10	学級閉鎖 (1/26)	5年生は全3クラス
6	ハクサンシリツ ツルギチュウガッコウ 白山市立鶴来中学校	白山市鶴来本町	3年3組	34	9	学級閉鎖 (1/26)	3年生は全3クラス
7	ワジマ シリツ モンゼンチュウガッコウ 輪島市立門前中学校	輪島市門前町	3年	22	13	学年閉鎖 (1/26~27)	3年生は全1クラス
8	スズ シリツ ウエドシヨウガッコウ 珠洲市立上戸小学校	珠洲市上戸町	全校	38	17	休校 (1/26~27)	1, 2年生は各全1クラス 3, 4年複式学級 5, 6年複式学級 特別支援学級は全2クラス
				284	109		

既発施設における本日の措置状況

区分	施設名
休校 ( 0施設 )	
学年閉鎖 ( 3施設 )	北陸学院小学校(5年)、加賀市立南郷小学校(3, 4年)、野々市市立富陽小学校(5年、1年1組、2年2, 4, 5組、3年1組、ほほえみ)
学級閉鎖 ( 9施設 )	金沢市立額小学校(1年2組)、金沢市立大徳小学校(1年1組、3年4組)、金沢市立田上小学校(2年3組)、金沢市立南小立野小学校(3年2組)、北陸学院高等学校(1年1組)、白山市立広陽小学校(5年1組)、小松市立能美小学校(3年1組)、小松市立国府小学校(6年2組)、小松市立苗代小学校(6年2組)